

【決定稿】

令和6年度 第2回神奈川県立生田高等学校学校運営協議会結果

本校の学校運営協議会を次のとおり開催した。

| | |
|--------------|---|
| 審議会等名称 | 神奈川県立生田高等学校学校運営協議会 |
| 開催日時 | 令和6年11月5日(火) 15時30分～17時00分 |
| 開催場所 | 神奈川県立生田高等学校小会議室 |
| 出席者 (役職名) | 学校運営協議会委員 深澤 倫子 (明治大学理工学部教務主任・応用化学科・教授) 菅原 隆宏 (川崎市立稗原小学校長) 中村 隆英 (川崎市立生田中学校長) 原山 修 (多摩区長沢商店会長) 山内 みずき (本校PTA会長) 布川 勝也 (本校校長) 脇本 健弘 (横浜国立大学教職大学院准教授) ※所用のため欠席 米山 福吉 (多摩区長沢地区自治会長) ※所用のため欠席 本校職員 細川 諭 (副校長) 杉山 崇裕 (教頭) 檜垣 桜子 (事務長) 根津 玲子 (総括教諭・学習支援グループリーダー) 鯨吉 剛 (総括教諭・研究開発グループリーダー) 牧野 篤敬 (総括教諭・管理・運営グループリーダー) 石原 和彦 (総括教諭・生活支援グループリーダー) 曾根 健吾 (記録 教諭・研究開発グループ) 森安 翔 (記録 教諭・研究開発グループ) |
| 次回開催予定日 | 令和7年3月 |
| 問合せ先 | 担当者名 神奈川県立生田高等学校 研究開発グループ 鯨吉 剛 電話番号 044-977-3800 FAX番号 044-976-9398 |

| | |
|----------|--|
| 審議(会議)経過 | <p>1 開会（副校長）</p> <p>2 校長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、ご参加いただき感謝する。 ・本日は令和6年度の目標設定に係る実施状況について中間報告をさせていただく。皆様にはそのことについての評価をいただきたい。 ・評価の参考になると思われるので、まずはD Xハイスクール事業により整備している施設・設備をご覧いただきたい。 ・9月7日（土）8日（日）に文化祭を実施した。 ・2学年は10月7日（月）から10日（木）までの3泊4日で北海道での修学旅行を実施した。 <p>3 施設見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曾根教諭より今年度新たに導入された施設設備（特201教室、ICT2教室、視聴覚室、進路カフェ）の案内を行った。 <p>4 協議</p> <p>○学校評価「令和6年度目標」に係る中間評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づき、各グループより説明を行った。（委員より） ・情報モラル教育についてどのような取組を行っているか。 <p>→SNS等の適切な利用を定めた「生田ソーシャルポリシー」を各教室に掲示している。1年次の情報の授業で、情報モラルの内容を扱い、SNS等の適切な利用を呼び掛けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による授業評価項目5（他者との思考の共有・深化について）および項目6（課題解決について）の「4」の回答が40%を超えていることについては、ICTが充実したことによって数字が向上している状況なのか。 <p>→昨年度の12月に実施した授業評価に比べ、すべての項目で数字が向上した。各教科で改善案を出し、それを基にICTの利用についての改善も図った。そのようなことが思考力や判断力の向上に結び付いているのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末の活用にあたって、どのようなソフトやアプリケーションを使っているのか。 <p>→ロイロノートやFigJamを用いて、他者と意見の共有を行う活動などを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理数探究基礎の内容にはどのようなものが含まれるのか。 <p>→1年次に情報Iの授業がなくなるため（3年次に履修）、年度当初はICTの活用のためのアカウントの配付や、各アプリケーションの使い方を学ぶ時間と考えている。その後データ分析の手法を学び、興味のある課題を発見、調査し発表する授業を考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車のマナーについて注意喚起をしていただいていることに大変感心した。加えて、時間に余裕を持った通学ができるような指導もしていただきたい。 ・授業の6割がペーパーレスとのことだが、学習内容の定着という観点についてはどのように考えているか。 <p>→事前に配付資料を見ることができたり、資料を見返したりすることが容易であることは、生徒の学習内容の定着に寄与していると思う。また、生徒全員へのカラー印刷のプリント配付は厳しいが、電子データを配信することで、カラーの資料を生徒全員に共有でき、</p> |
|----------|--|

| | |
|--|--|
| | <p>学習効果は高まっている。 (校長より)</p> <p>○ルーブリック評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のための評価とならないよう、まずは実践的1行ルーブリックを推進している。 <p>○探究活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」と違い、理数探究基礎、理数探究は教科・科目となるが、引き続き進路グループは探究活動に関わっていく方向で考えている。 <p>○長沢にこにこハーモニーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立高校がどのようにして地域の一員になるかということは、小中学校と比較すると非常に大きな問題である。 ・長沢にこにこハーモニーがなくなってしまうと、地域とのかかわりが非常に気薄になってしまうが、地域の皆様のご尽力により現状に即したい形を見つけることができた。お礼申し上げます。 <p>5 その他 特になし</p> <p>6 閉会（PTA会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様をはじめ、地域の皆様におかれましては、さまざまな形でご支援いただき、感謝する。引き続きご助言、ご意見をいただきたい。 <p>【部会】</p> <p>それぞれの部会で次のような内容について話し合った。</p> <p>(生徒と地域の連携部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長沢にこにこハーモニーについて ○交通事故防止について <p>(理数教育・ICT利活用推進部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高大連携プログラムについて ○情報の授業について ○授業プリントのペーパーレス化について |
|--|--|